

2004年第17週報告分

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数届出患者報告数
- 五類定点患者報告数
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
- インフルエンザ -
- 年齢階級別報告数
- 保健所別報告数
- 保健所別報告数(定点当たり)

感染症豆知識

- R S ウ イ ル ス 感 染 症

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



発生動向の概況 17週分

(全数報告の疾患)

- ・細菌性赤痢が1件報告された。ソネ菌で、推定感染地はインドである。
- ・腸チフスが1件報告された。推定感染地はインドである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が3件報告された。血清型はすべてO157(VT2産生株1件、VT1 & VT2産生株2件)である。
- ・アメーバ赤痢が3件報告された。推定感染地は国内2件、国外(マレーシア等)1件である。推定感染経路は同性間性的接触1件、飲食等による経口感染2件である。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。推定感染地は国内で、推定感染経路はヒト乾燥硬膜である。臨床決定の孤発例である。
- ・HIV感染症が11件報告された。無症候性キャリア7件、AIDS3件、その他1件で、推定感染経路は異性間性的接触3件、同性間性的接触8件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。感染経路は不明である。
- ・梅毒が1件報告された。無症候梅毒で、推定感染経路は同性間性的接触である。
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症が1件報告された。79歳女性で、血液から*VanC*型の菌が検出された。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多い。風しんが急増しており注意が必要である。

(検出された病原体)

- ・14週で報告した劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者より分離された菌株はT3型であった。T3型は重症化傾向があり、注意が必要である。
- ・髄膜炎1名の髄液からエンテロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・不明発疹2名と不明熱1名の咽頭拭い液からアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・ウイルス性胃腸炎集団発生4事例の患者検体4件からG II型のノロウイルスが検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA1株はコアグララーゼII型であった。
- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌1株のT型は4型であった。
- ・保健所等から搬入された血清等19件中8件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・クラミジア・トラコマチス遺伝子が頸管拭い液7件中2件から検出された。
- ・ヒトパピローマウイルス遺伝子が頸管拭い液7件中2件から検出された。

定点医療機関からのコメント

今週は定点医療機関からのコメントはありません。

全数届出患者報告数 2004年 17週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		14週	15週	16週	17週	年累計	17週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ	1				1	0	7
	細菌性赤痢	3	4	3	1	36	5	122
	ジフテリア							
	腸チフス				1	2	1	12
	パラチフス			1		2	6	15
三類	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	3	23	25	207
四類	E型肝炎						(0)	(7)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					9	(1)	(52)
	エキノкокクス症						0	12
	黄熱							
	オウム病						4	11
	回帰熱							
	Q熱						0	2
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症						0	1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					5	0	58
	デング熱					3	0	5
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						0	2
	日本脳炎						0	1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症								
マラリア					6	0	16	
野兔症								
ライム病						0	2	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					2	4	30	
レプトスピラ症					1	(0)	(1)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	1	5	3	49	4	174
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)					8	4	86
	急性脳炎			1		2	(3)	(19)
	クリプトスポリジウム症					1	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	3	2	52
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				4	1	17
	後天性免疫不全症候群	14	12	13	11	134	13	297
	ジアルジア症	2			1	8	2	24
	髄膜炎菌性髄膜炎					2	1	10
	先天性風しん症候群					1	0	3
	梅毒	1	1	2	1	21	7	146
	破傷風					1	2	16
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1	1	3	1	16	

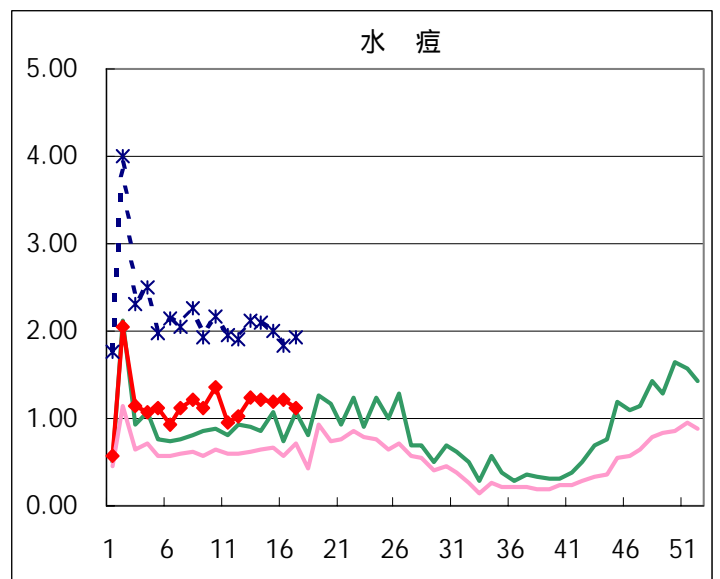
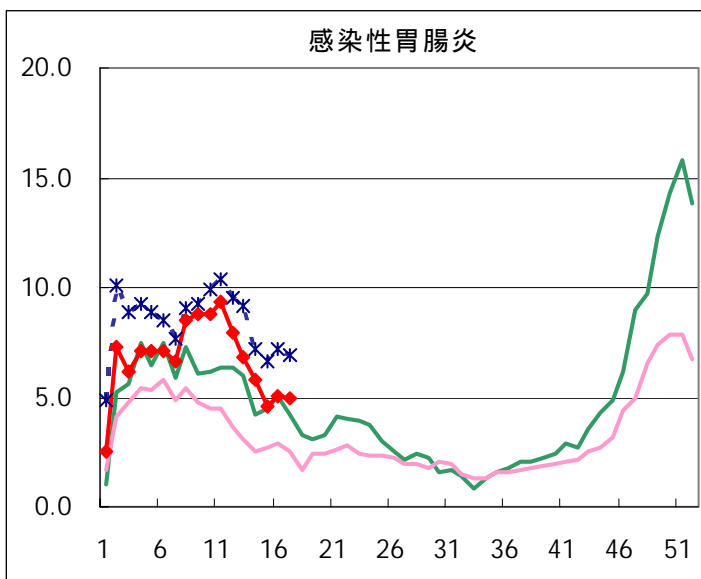
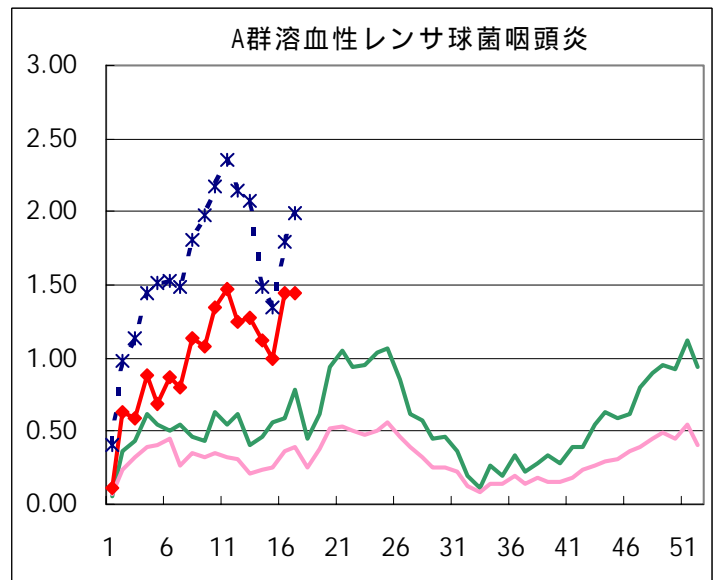
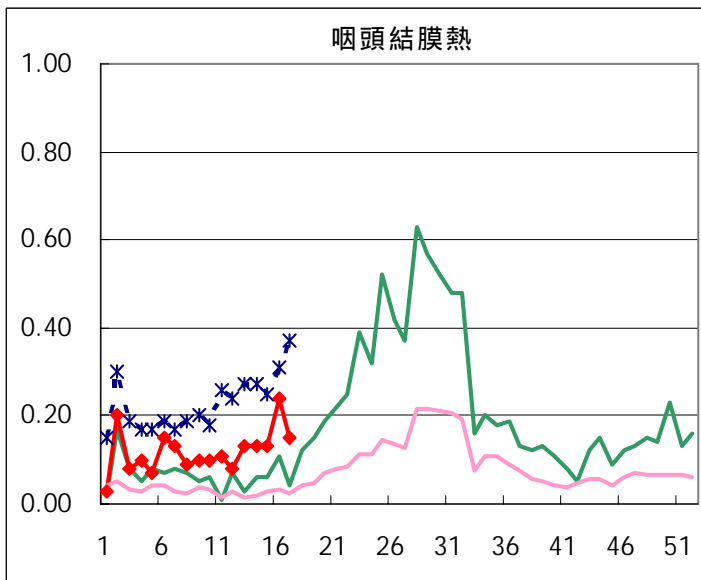
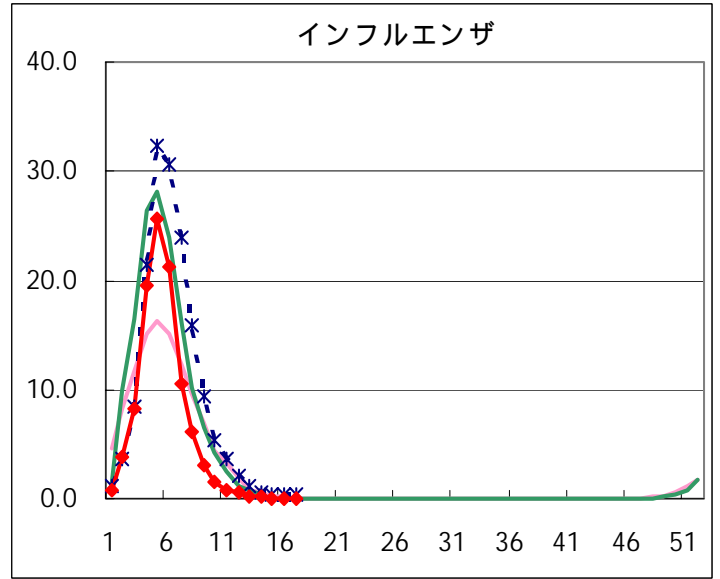
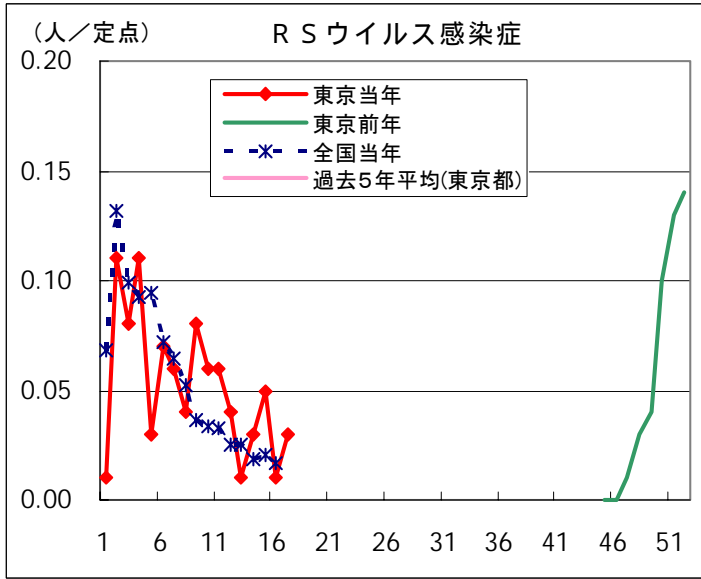
カッコ内の数値は前週分である(2004/4/28集計)。

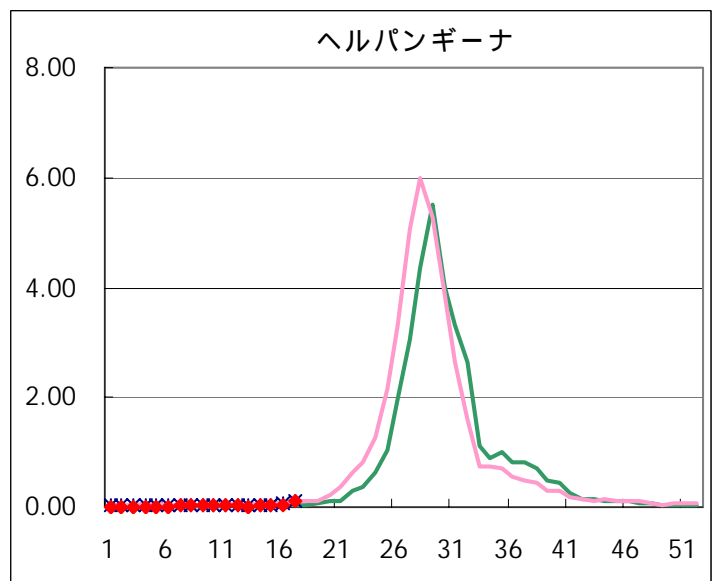
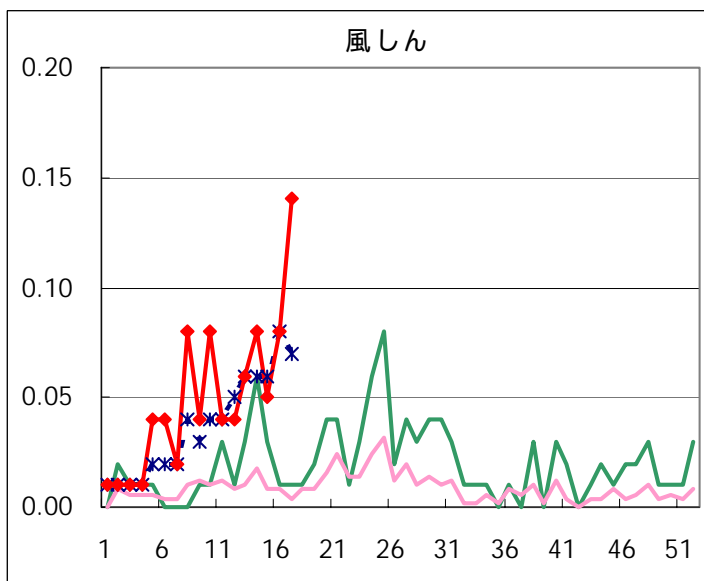
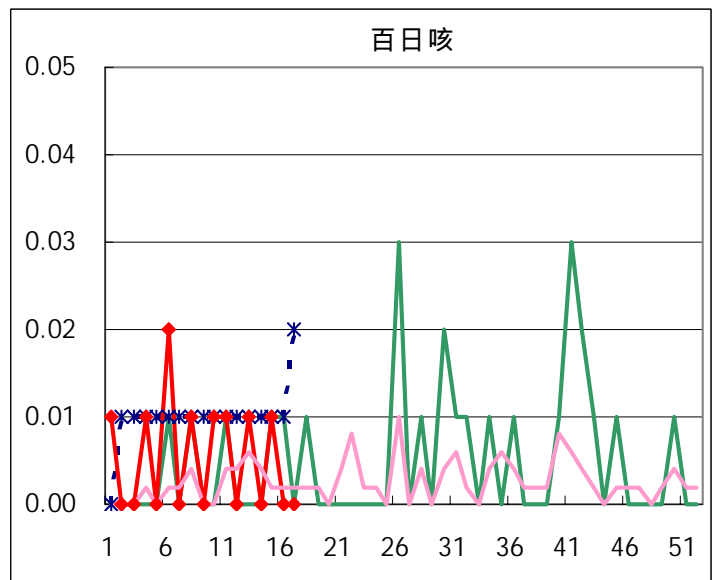
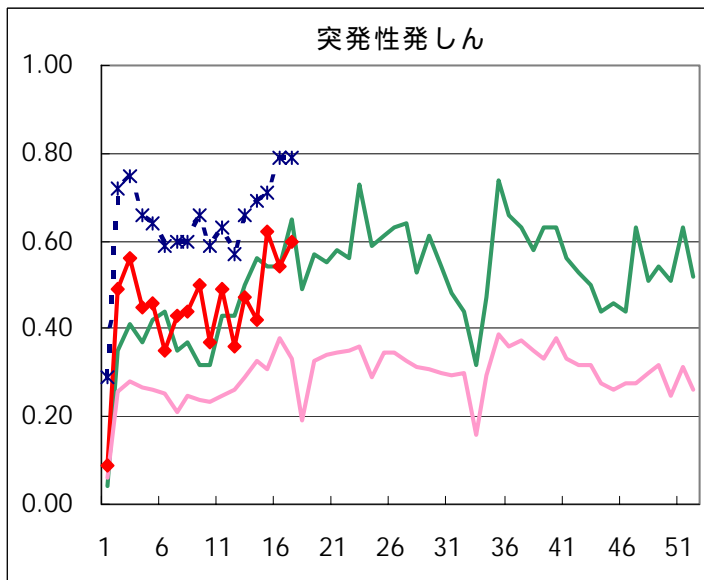
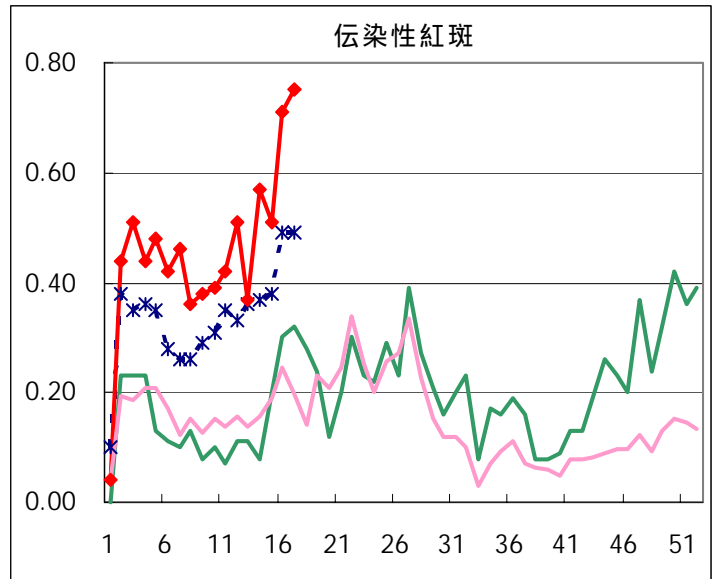
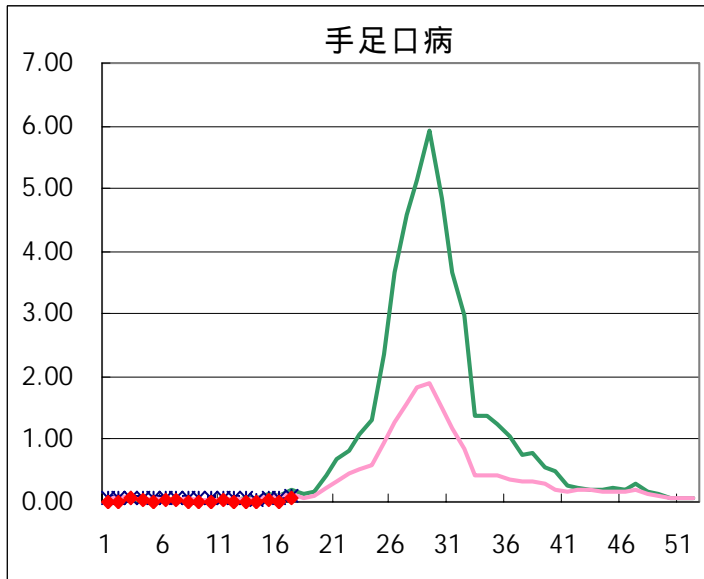
五類定点患者報告数（男女別）

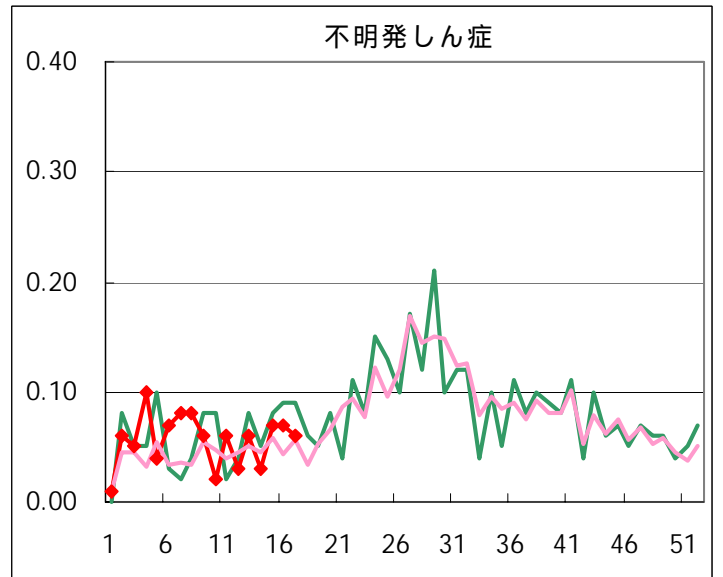
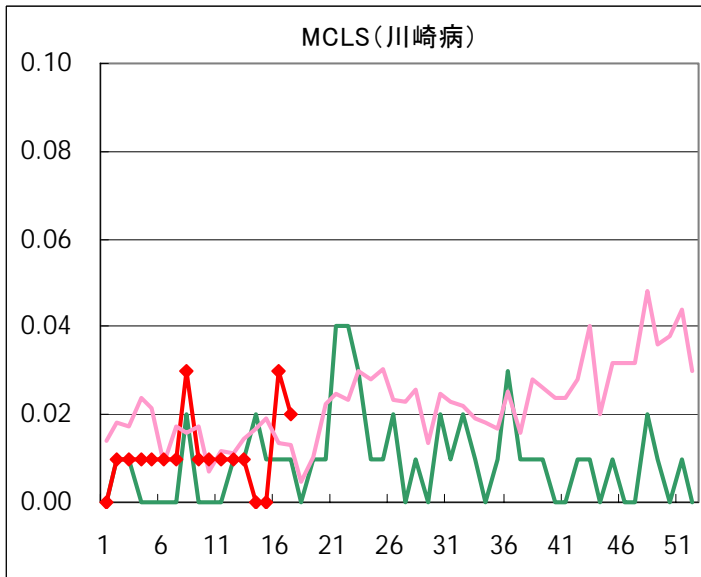
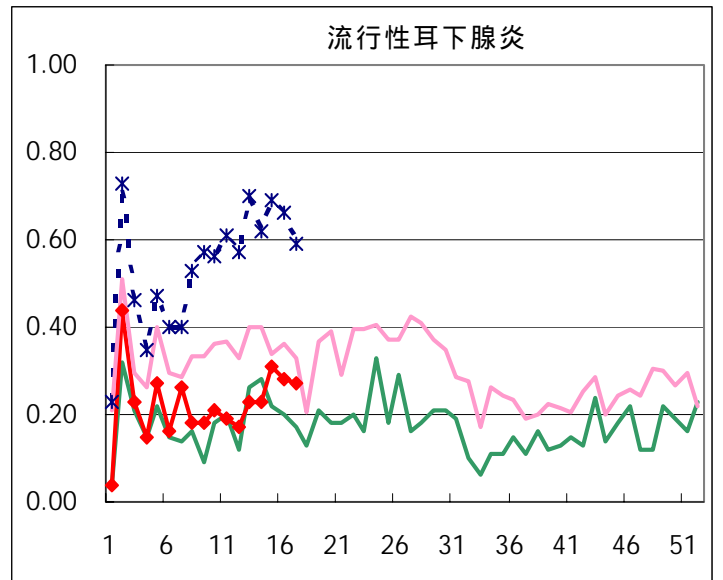
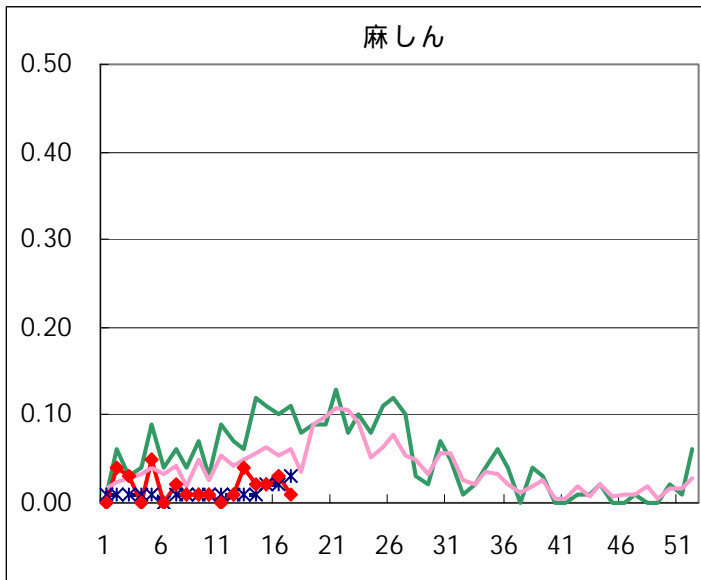
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		14	15	16	17		
R S ウイルス感染症	男	3	4	1	2	10	68
	女	1	3		2	6	46
インフルエンザ	男	15	6	1	4	26	9,161
	女	12	4	3	4	23	9,022
咽頭結膜熱	男	11	10	20	9	50	165
	女	8	9	14	13	44	127
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	78	80	86	97	341	1,286
	女	81	62	118	107	368	1,147
感染性胃腸炎	男	436	340	374	353	1,503	8,327
	女	384	315	348	349	1,396	8,014
水痘	男	91	77	88	80	336	1,498
	女	81	91	84	77	333	1,304
手足口病	男		2	1	6	9	25
	女		2	1	3	6	26
伝染性紅斑	男	45	32	53	39	169	542
	女	36	41	48	68	193	565
突発性発しん	男	28	46	36	46	156	568
	女	31	42	41	39	153	522
百日咳	男		1			1	6
	女						5
風しん	男	7	4	5	13	29	71
	女	4	3	6	7	20	49
ヘルパンギーナ	男	3	1	3	6	13	31
	女	1	3	3	8	15	26
麻しん(成人以外)	男	1	1	2	1	5	26
	女	2	2	2		6	16
流行性耳下腺炎	男	18	27	19	25	89	294
	女	15	17	21	13	66	244
不明発疹症	男	3	6	4	3	16	66
	女	1	4	6	6	17	67
M C L S	男			3		3	13
	女			1	3	4	12
急性出血性結膜炎	男						2
	女			1		1	2
流行性角結膜炎	男	6	10	6	5	27	140
	女	8	8	7	6	29	142
細菌性髄膜炎	男		1			1	3
	女						2
無菌性髄膜炎	男						5
	女		1			1	8
マイコプラズマ肺炎	男	2	3		1	6	20
	女	1	2	2	3	8	17
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男						
	女						2
成人麻しん	男			1		1	4
	女						

疾病別グラフ(五類定点週報告分)

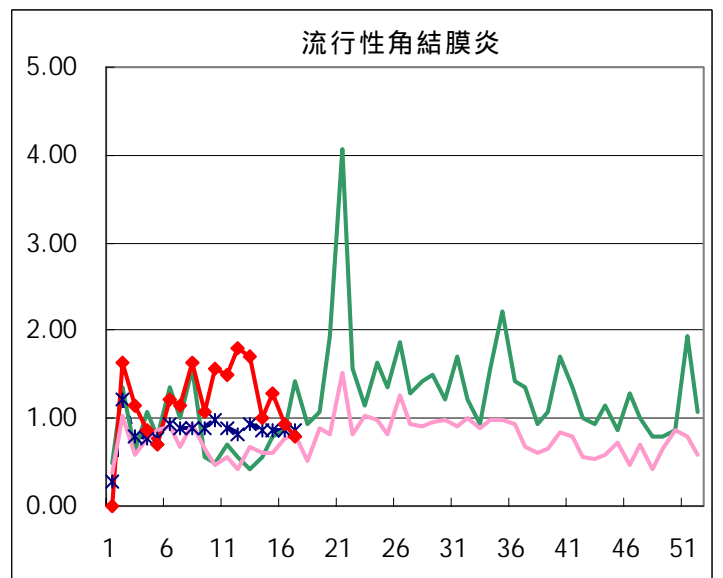
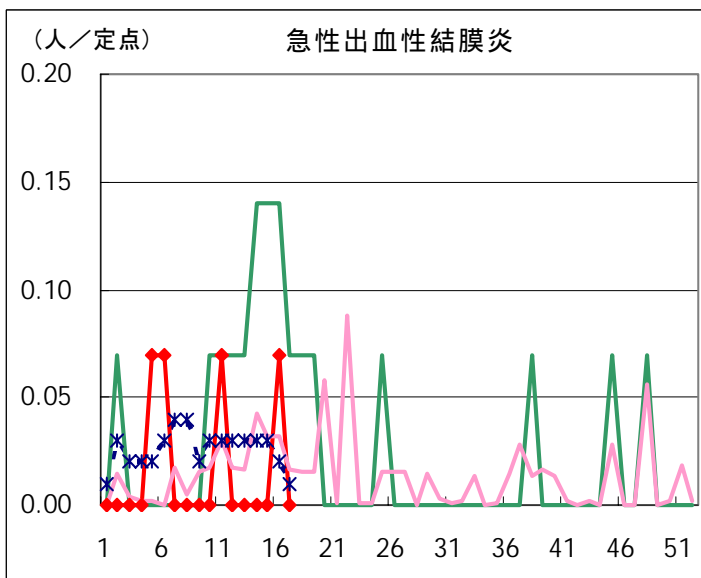
◆ 小児科・インフルエンザ定点



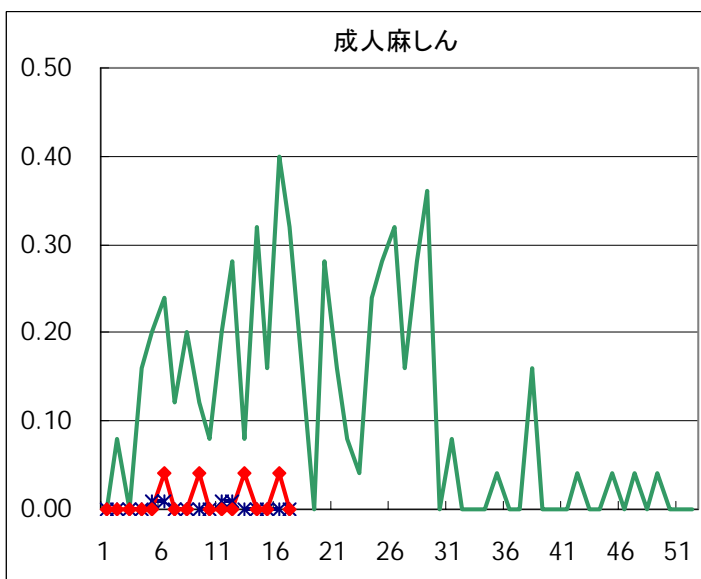
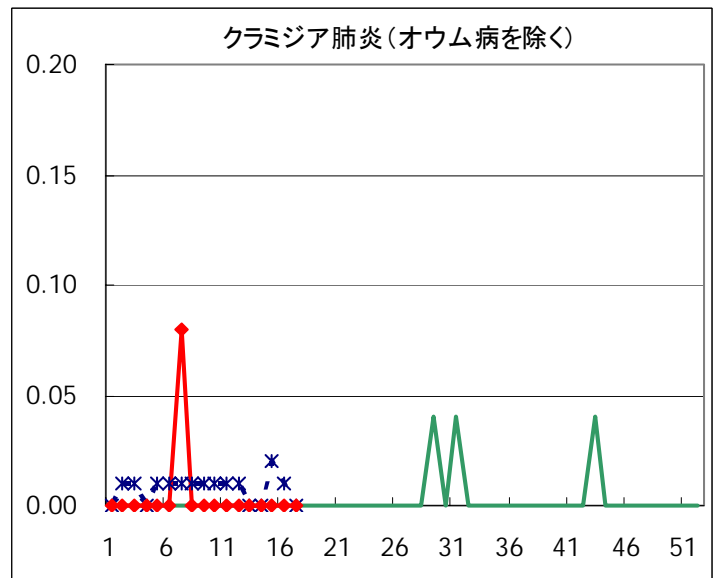
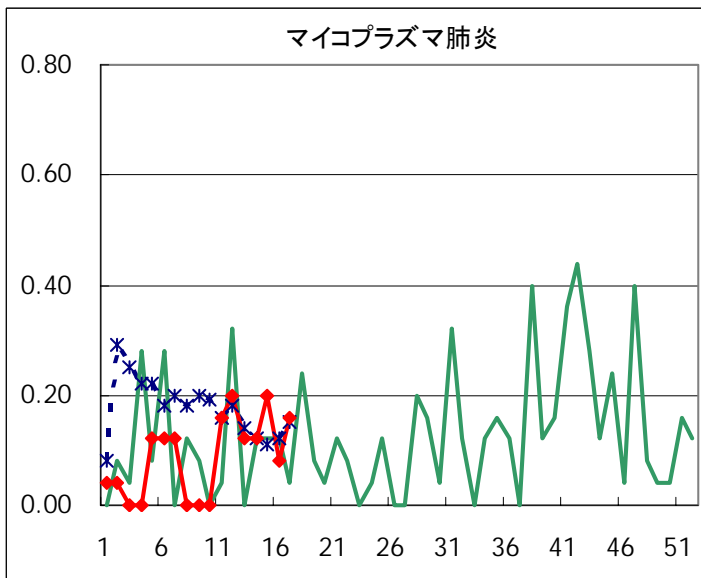
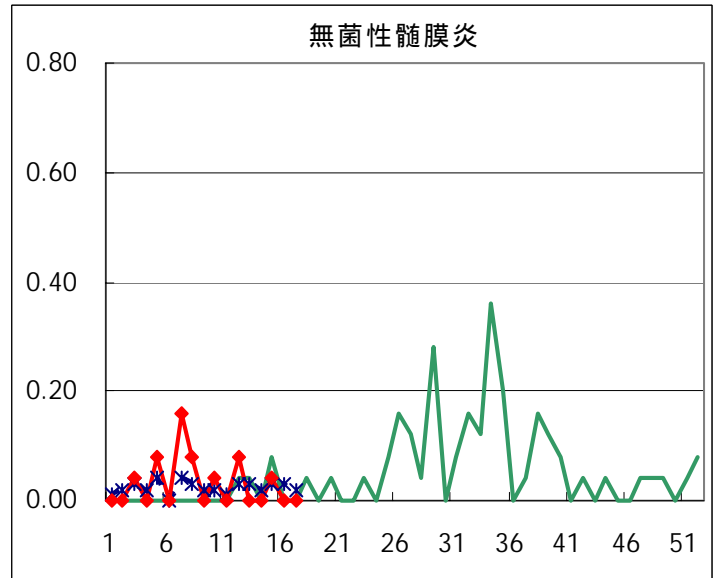
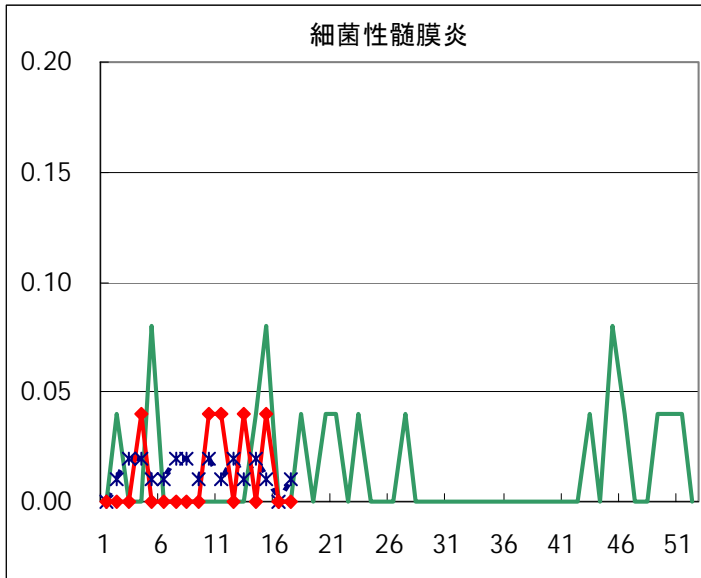




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年10週～17週)

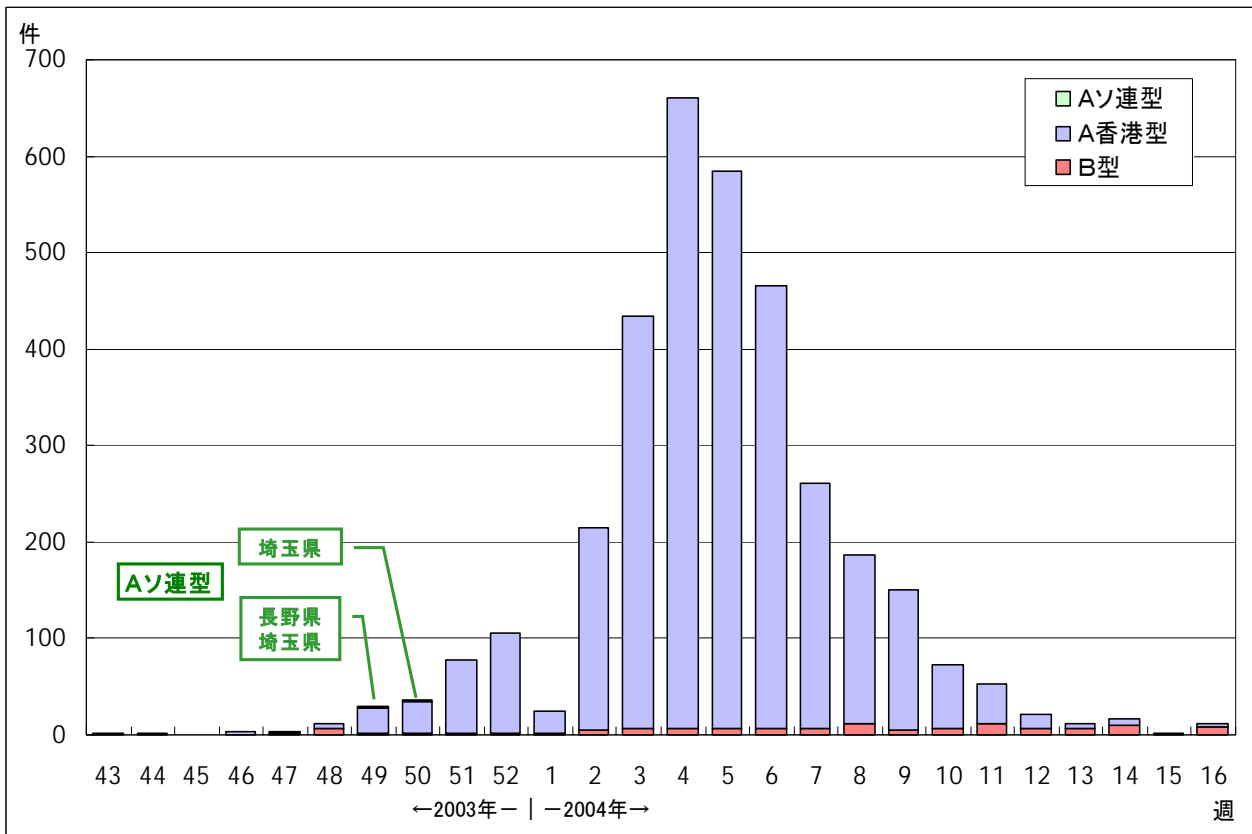
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2004年									
		10	11	12	13	14	15	16	17		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型	4				1	1			6	
	インフルエンザB型		1			1				2	
	RSV	1	1	1						3	
	アデノ	4	4	4	2	4	2	1	3	24	
	エンテロ		2				1	2	1	6	
	ノロ	16	48	32	23	50	17	6	5	197	
	ロタ	4	3	3	3	3	1	1		18	
	単純ヘルペス						2			2	
	水痘・带状疱疹しん										
	EBV			1			1			2	
	CMV										
	HHV6/7		4		2		1	1		8	
	ムンプス										
	麻しん							1		1	
	パルボB19		1							1	
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2		1							1
		アデノ1									
		アデノ2									
		アデノ3	1								1
		エコー13									
		エコー71									
		コクサッキーA6									
	抗体	デング		1							1
		ツツガムシ									
	細菌	カンピロバクター									
サルモネラ											
下痢原性大腸菌											
エロモナス											
O157											
MRSAコアグララーゼⅠ型											
MRSAコアグララーゼⅡ型						7	1	7	1	16	
MRSAコアグララーゼⅢ型											
MSSAコアグララーゼⅤ型											
溶連菌T-1型						11		4		15	
溶連菌T-3型											
溶連菌T-4型				1	4		3	1		9	
溶連菌T-6型											
溶連菌T-12型			1		8	1	3			13	
溶連菌T-22型											
溶連菌T-25型											
溶連菌T-28型					1				1		
溶連菌UT											
性感染症	梅毒		1		1		1			3	
	クラミジア抗体	13	36	15	26	9	12	31	8	150	
	クラミジア遺伝子						1		2	3	
	淋菌遺伝子			1						1	
	パピローマ	2	4	1	4	7		2	2	22	

臨床診断名別病原体検出結果（2004年10週～17週）

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザを含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型	5	1															6
インフルエンザB型	2																2
RSV		1	1													1	3
アデノ		5	3	1		7				1		5				2	24
アデノ1																	
アデノ2																	
アデノ3												1					1
エンテロ			1				1	1				2				1	6
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1																	
ポリオ2		1															1
ムンプス																	
ノロ						197											197
ロタ						18											18
単純ヘルペス								1						1			2
水痘・带状疱疹しん																	
パルボB19											1						1
カンピロバクター																	
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌																	

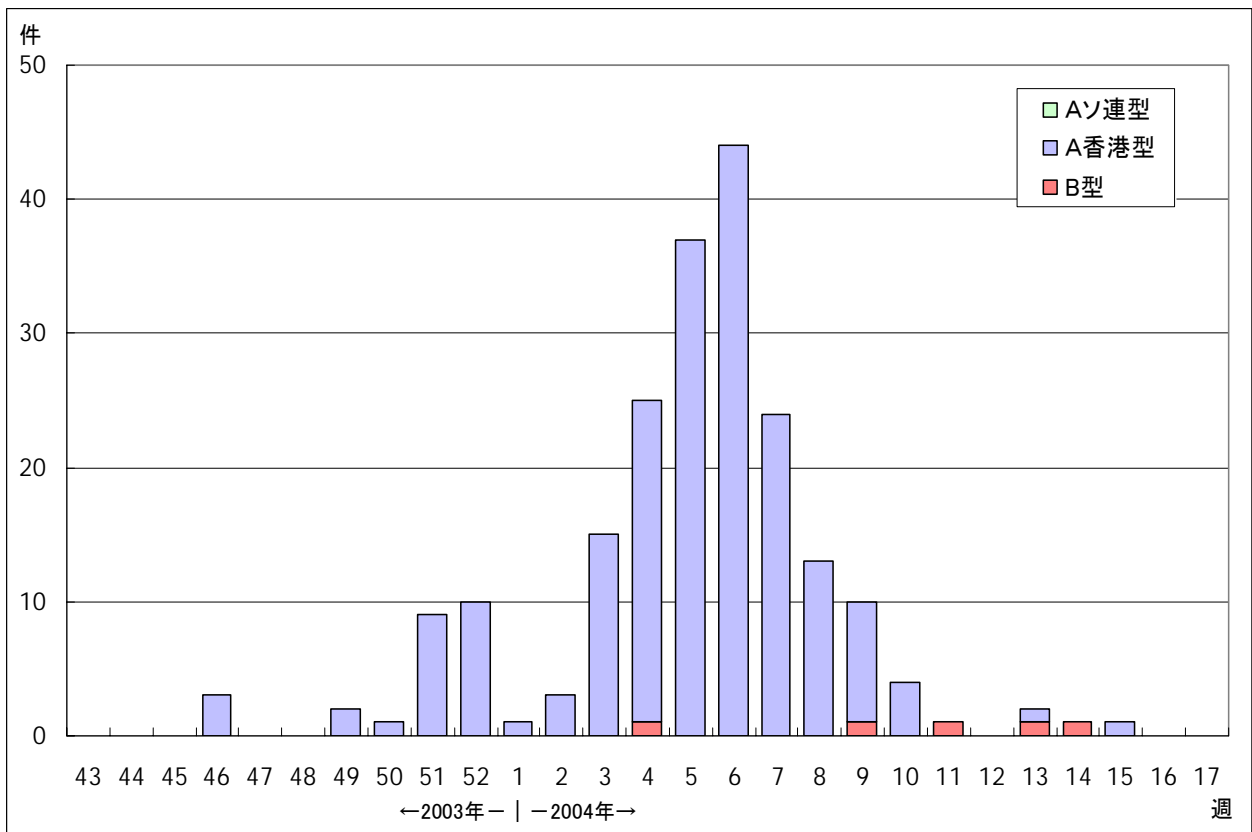
病原体グラフ (インフルエンザ)

2003 - 04シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (全国)



IASR 病原微生物検出情報 (2004年4月22日現在報告数)

2003 - 04シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (東京都)



ウイルス研究科・多摩支所微生物研究科

年齢階級別報告数 2004年 17週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					6				5
～1歳		1		2	46	9	2		49
1歳			5	4	103	26	1	2	30
2歳			5	14	88	28	3	6	1
3歳			2	17	81	32	3	8	
4歳		3	2	29	65	24		15	
5歳		2	3	35	65	16		11	
6歳			1	30	32	6		17	
7歳			1	22	27	3		16	
8歳			1	22	34	4		15	
9歳				9	21	2		7	
10～14歳				10	32	4		6	
15～19歳				3	16	1		2	
20～29歳	4	1	2	7	86	2		2	
30～39歳									
40～49歳		1							
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	4	8	22	204	702	157	9	107	85
先週比	3	4	-12	0	-20	-15	7	6	8

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月									
～1歳					1			3	
1歳		4	6					3	2
2歳		3	2		5			2	
3歳		1	1		4			1	
4歳		1	1		6				1
5歳					3				
6歳		1	1		6				
7歳		2			2				
8歳		1			2				
9歳		1	1	1	3				
10～14歳		2			3				
15～19歳		1			1		1		
20～29歳		3	2		2				
30～39歳							1		
40～49歳							1		
50～59歳							5		
60～69歳							3		
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	20	14	1	38	-	11	9	3
先週比	0	9	8	-3	-2	-1	-2	-1	-1

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 17週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					2					
中央区				5	21	3	1		6	
みなと	4		5	5	13	2		3		
新宿区		2		5	41	4		2	2	
文京					4	2		1	1	
台東				13	28	2		10	4	
墨田区			1	9	7	6		16	3	
江東区		1		8	22	5	1	1	5	
品川区			2		38	3	4	6	1	
目黒区				4	9	4				
大田区			8	35	59	17		7	7	
世田谷区				3	39	17		5	3	
渋谷区			1		36	6		6		
中野区		1		4	42	1		1	1	
杉並				4	31	4		4	7	
池袋					4	1		1	1	
北区				17	19	11			10	
荒川区				11	22	1		3	2	
板橋区				1	7	5		3	1	
練馬区				9	23	3		3		
足立				2	10	8	2	3		
葛飾				7	23	21		2	7	
江戸川			4	15	26	1		7	2	
西多摩				18	20	2		7	4	
八王子					11	1		3	2	
南多摩					27	5		3	3	
町田				2	16	1				
多摩立川		2		6	18	1			2	
多摩府中				9	27	9		2	4	
多摩小平		2	1	12	57	4			7	
島しょ						7	1	8		

東京都合計	4	8	22	204	702	157	9	107	85	-
定点当り報告数	0.03	0.04	0.15	1.44	4.94	1.11	0.06	0.75	0.60	-

保健所別報告数 2004年 17週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCL S	合計
千代田				2					4
中央区		4		1				1	42
みなと		1					1		34
新宿区						6	4		66
文京						2			10
台東									57
墨田区							1		43
江東区	1					1			45
品川区	4	3		6					67
目黒区	2			2					21
大田区				1					134
世田谷区	1			1					69
渋谷区									49
中野区	1								51
杉並				1					51
池袋	1								8
北区							1		58
荒川区				1					40
板橋区				1					18
練馬区	1			2					41
足立	1	2		4					32
葛飾		1					2	1	64
江戸川	2			1				1	59
西多摩									51
八王子									17
南多摩		2		4					44
町田									19
多摩立川	1		1	8		2			41
多摩府中	1			1					53
多摩小平	4	1		2					90
島しょ									16

東京都合計	20	14	1	38	-	11	9	3	1394
定点当り報告数	0.14	0.10	0.01	0.27	-	0.79	0.06	0.02	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年 17週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					0.50					
中央区				1.67	7.00	1.00	0.33		2.00	
みなと	0.67		0.83	0.83	2.17	0.33		0.50		
新宿区		0.29		0.83	6.83	0.67		0.33	0.33	
文京					1.33	0.67		0.33	0.33	
台東				4.33	9.33	0.67		3.33	1.33	
墨田区			0.33	3.00	2.33	2.00		5.33	1.00	
江東区		0.25		2.67	7.33	1.67	0.33	0.33	1.67	
品川区			0.33		6.33	0.50	0.67	1.00	0.17	
目黒区				1.33	3.00	1.33				
大田区			0.89	3.89	6.56	1.89		0.78	0.78	
世田谷区				0.38	4.88	2.13		0.63	0.38	
渋谷区			0.25		9.00	1.50		1.50		
中野区		0.14		0.67	7.00	0.17		0.17	0.17	
杉並				0.67	5.17	0.67		0.67	1.17	
池袋					0.80	0.20		0.20	0.20	
北区				4.25	4.75	2.75			2.50	
荒川区				5.50	11.00	0.50		1.50	1.00	
板橋区				0.17	1.17	0.83		0.50	0.17	
練馬区				1.80	4.60	0.60		0.60		
足立				0.50	2.50	2.00	0.50	0.75		
葛飾				1.75	5.75	5.25		0.50	1.75	
江戸川			1.00	3.75	6.50	0.25		1.75	0.50	
西多摩				3.60	4.00	0.40		1.40	0.80	
八王子					5.50	0.50		1.50	1.00	
南多摩					9.00	1.67		1.00	1.00	
町田				1.00	8.00	0.50				
多摩立川		0.25		1.00	3.00	0.17			0.33	
多摩府中				0.90	2.70	0.90		0.20	0.40	
多摩小平		0.25	0.17	2.00	9.50	0.67			1.17	
島しょ						7.00	1.00	8.00		

東京都合計	4	8	22	204	702	157	9	107	85	-
定点当り報告数	0.03	0.04	0.15	1.44	4.94	1.11	0.06	0.75	0.60	-

保健所別報告数(定点当たり) 2004年 17週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCL S
千代田				0.50				
中央区		1.33		0.33				0.33
みなと		0.17					0.17	
新宿区						3.00	0.67	
文京						2.00		
台東								
墨田区							0.33	
江東区	0.33					1.00		
品川区	0.67	0.50		1.00				
目黒区	0.67			0.67				
大田区				0.11				
世田谷区	0.13			0.13				
渋谷区								
中野区	0.17							
杉並				0.17				
池袋	0.20							
北区							0.25	
荒川区				0.50				
板橋区				0.17				
練馬区	0.20			0.40				
足立	0.25	0.50		1.00				
葛飾		0.25					0.50	0.25
江戸川	0.50			0.25				0.25
西多摩								
八王子								
南多摩		0.67		1.33				
町田								
多摩立川	0.17		0.17	1.33		2.00		
多摩府中	0.10			0.10				
多摩小平	0.67	0.17		0.33				
島しょ								

東京都合計	20	14	1	38	-	11	9	3
定点当り報告数	0.14	0.10	0.01	0.27	-	0.79	0.06	0.02

R S ウイルス感染症

小児の下気道炎の主要病原体のひとつであるパラミキソウイルス属のRSウイルスによって起きる急性呼吸器感染症で、病像の特徴は細気管支炎と肺炎である。2歳までにほとんどの者が感染し、半数が2回感染を経験する。日本では晩秋から春にかけて多い。4～5日の潜伏期間の後、鼻水に、咳、くしゃみ、発熱が続き、上気道炎症状にとどまることもあるが、その後に下気道炎症状が出現することが多い。38～39度の発熱が見られることもある。

乳児では25～40%に肺炎や気管支炎の徴候があり重い下気道炎、1歳半以上では喘息の診断で反復性の喘鳴、年長児では気管支炎を示すことが多い。新生児、先天性心疾患や免疫不全のある小児が感染すると呼吸困難などの重篤な症状を引き起こし、入院、呼吸管理を必要とする確率が高くなる。発病1～2週間で自然に回復する例もあるが、重症化した場合、乳児では細気管支炎による喘鳴から呼吸困難へと進行し、多呼吸、陥没呼吸、低酸素血症、肺炎などを呈する。新生児、あるいは生後2～3ヵ月未満の乳児の場合には無呼吸発作を起こすことがある。年長児では肺炎や細気管支炎は減り、上気道炎にとどまる人が多い。中耳炎を合併することがある。

感染症発生動向調査では五類の定点報告疾患に分類され、届出の基準は、診断した医師の判断より症状や所見からRSウイルス感染症が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によってRSウイルス感染症と診断されたものとされている。

(文責・関根 大正)